

No.	013	—	1025	事務事業名	集落支援事業				公的関与	9					
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 27 年度 ~	期間設定なし					
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	3 地域コミュニティの育成		主要施策	3 コミュニティ活動の活性化支援						
	事業の目的	人口減少及び高齢化の著しい地域等における集落の維持・活性化を図るため。				根拠法令等	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略								
	事業の手段	集落の点検や状況把握、行政と地域との連携調整を行うとともに、住民間の話し合いの場を通じて必要とされる施策を見いだせるよう支援します。				掲載計画									
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標					
		設置人数	過疎地域等の集落対策のために活用する人材の数		人	目標	5	5	5	5					
						実績	4	4							
		活動回数	過疎地域等の集落対策を推進するための活動数		回	目標	120	120	120	120					
						実績	87	86							
目標															
実績															
DO	活動内容	① 集落支援員の設置			④										
		② 集落巡回、状況は区、話し合いの支援、維持・活性化に向けた取組			⑤										
		③													
	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費					
	直接事業費			令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考								
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源		696 千円	692 千円	1,000 千円									
	計(A)		696 千円	692 千円	1,000 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.115 人	726 千円	0.115 人	730 千円	0.115 人	730 千円								
	臨時職員工数・経費	0.067 人	136 千円	0.067 人	141 千円	0.067 人	141 千円								
全体事業費(A+B)		1,558 千円		1,563 千円		1,871 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	地域振興係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	今後益々人口減や高齢化が進む過疎集落等の地域課題に対して、行政のみによる対策には限界が懸念されることから、住民と行政の協働による、地域の実態に応じた集落の維持・活性化対策の事業は必要と考えます。													
	有効性	支援員の活動内容を支援員以外の住民が機能を担えるようなケースについては工夫・整理を図るほか、各集落の実態に応じた成果・貢献がしっかり期待できるような特化した活動内容が求められます。													
	達成度	地域運営組織による具体的なアクションプランの展開に進むなど、一定の成果が見られる集落もありますが、更に集落課題の改善に対する明確な目標の再設定や他の集落への波及を図る必要性を感じています。													
	効率性	行政による過疎集落への目配りが、必ずしも十分に行うことが困難である懸念もあることから、地域の実情に詳しい人材を活用した市民協働の制度としての効率性が期待されます。													
	当面の課題	今後益々深刻化していく人口減や高齢化が進む過疎集落等の地域課題に対して、行政のみによる対策には限界が懸念される中、地域の住民主導による地域課題の点検や整理、地域づくりに向けた機運を高める必要があると考えます。													
	改革計画	住民と行政の協働による、地域の実態に応じた集落の維持・活性化対策の事業として、より貢献度や効率性が高い活動内容を住民と共に精査し、活動内容や目標設定を更に明確化していく必要があると考えます。													
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
	二次評価での指摘事項	集落支援員は、導入地域においてとても重要な役割を担っています。しかし、その業務内容等が曖昧であるため、改革計画にもあるとおり、目的・内容などを明確にして取り組んでください。													

No.	013	—	1026	事務事業名	地域おこし協力隊導入事業				公的関与	8					
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 28 年度 ~	期間設定なし					
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	3 地域コミュニティの育成		主要施策	4 コミュニティビジネスの支援						
	事業の目的	地域おこし協力隊を受け入れた地域の集落維持及び活性化と協力隊の定住のため。				根拠法令等	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略								
	事業の手段	地域おこし協力隊の受入れを希望する地域、団体等と調整を図った上で、都市地域等へのPR活動を含めた募集を行い、選考、委嘱を経て隊員が円滑に活動できるよう支援します。				掲載計画									
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標					
		集落維持・活性化に取り組む地区	総合戦略KPI		地区	目標	5	5	5	5					
						実績	4	2							
		地域おこし協力隊設置	総合戦略KPI		人	目標	5	5	5	5					
						実績	6	4							
					目標										
					実績										
DO	活動内容	①	地域おこし協力隊の選考、受入			④									
		②	地域おこし協力隊の活動支援(補助金、面談、調整)			⑤									
		③	地域おこし協力隊の起業支援												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費					
	直接事業費			令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考								
		国・県支出金		500 千円	1,500 千円	1,000 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源		20,964 千円	23,889 千円	19,738 千円									
	計(A)		21,464 千円	25,389 千円	20,738 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	1.553 人	9,635 千円	1.627 人	10,270 千円	1.627 人	10,270 千円								
	臨時職員工数・経費	0.032 人	63 千円	0.032 人	65 千円	0.032 人	65 千円								
全体事業費(A+B)		31,162 千円		35,723 千円		31,072 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	地域振興係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
	項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)													
	必要性	地域やアート・ヴィレッジとうおん構想が抱える問題への人的サポートと将来の定住希望者の呼び込みの面から必要な施策です。導入地区やタイミングに関しては関係者からヒアリングを重ね、ミスマッチを防ぐ必要があります。													
	有効性	行政ではできなかった柔軟な地域おこし策が可能で、住民が増えることによる地域の活性化に有効な制度である一方、将来の定住に向けた隊員の意思とサポート体制が必要です。													
	達成度	任期終了後の市内への定着率は全国平均をわずかながらも上回っており、住宅購入者や結婚による定住者もいます。今後もニーズに応じて随時募集を行います。													
	効率性	事務が煩雑にならないよう適切に処理する必要があります。しかし、地域と人材のマッチング事業としての側面があるので、多少非効率だとしても丁寧な伴走型支援を行うことも必要です。													
	当面の課題	中山間地域における地域運営組織の人的サポートとして協力隊の活動は必要です。また、アート・ヴィレッジとうおん構想推進のためにもアート人材の移住・定住を積極的に推進します。国は地域おこし協力隊員の増員を推進しており、今後、観光物産協会(観光振興、特産品開発)や、農林振興分野や教育委員会部局への協力隊導入について、他市町の導入事例を参考にしながら検討する必要があります。													
	改革計画	地域おこし協力隊を導入する地域を広域化し、地域運営組織の設立及び自立化に向けて伴走支援を行います。また、他課との連携に向けた導入受入を強化するための職員研修などの実施を検討します。													
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
	二次評価での指摘事項	本市においても、地域おこし協力隊の導入は必要です。さらに、受入先となる地域運営組織、団体などと協議を重ね、導入目的を明確にした綿密な計画作成を行い取り組んでください。また、協力隊の導入目的によっては、他市町の例にあるように、他課が担当することが効果的であるため、検討してください。													

No.	013	—	1064	事務事業名	東温アートヴィレッジセンター運営管理事業	公的関与	6
-----	-----	---	------	-------	----------------------	------	---

PLAN	課名	地域活力創出課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp	
	事業区分	施設の維持管理	事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 30 年度 ~ 期間設定なし	
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち	政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進	主要施策	1 協働のまちづくりの総合的推進		
	事業の目的	舞台芸術をはじめとする優れた文化芸術の鑑賞・体験・創作・発表の場を提供することにより、文化芸術を通じた交流機会の拡大、関連産業の創出及び次世代を担う人材の育成を図り、もって活力ある地域社会の実現に寄与するため。				根拠法令等	東温アートヴィレッジセンター条例		
	事業の手段	指定管理者制度を活用し、民間のノウハウを取り入れつつ多彩な文化芸術関連サービスや質の高い公演・イベント等を展開します。				掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略、アート・ヴィレッジとうおん構想、東温市移住定住促進マスタープラン		

DO	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標		
		東温アートヴィレッジセンター利用者数	指定管理者設定利用者数目標	人	目標 18,000 実績 12,799	18,000 18,151	18,000	25,000		
					目標 実績					
	活動内容	① 必須事業・自主事業	④ 指定管理者の評価・検証(モニタリング)							
		② 貸館業務	⑤ 指定管理者の更新							
		③ 施設維持管理								
	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費
	直接事業費		令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考				
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円					
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円					
その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円						
一般財源		7,000 千円	6,000 千円	5,000 千円						
計(A)	7,000 千円	6,000 千円	5,000 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.078 人 492 千円	0.407 人 2,585 千円	0.100 人 635 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円						
全体事業費(A+B)		7,492 千円	8,585 千円	5,635 千円						

CHECK・ACTION	一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善	
	項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)													
	必要性	市内外から高いニーズがあり、他に類似事業がない、必要性の高い事業です。													
	有効性	他の類似事業はなく、利用者数の増加が図られるなど、有効性の高い事業です。しかしながら、事業内容は一部マンネリ化の傾向にあるため、改善が必要です。													
	達成度	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、施設利用者数は目標を達成しました。一方で、収入目標については、更なる努力が必要です。													
	効率性	指定管理料が毎年減額となる中、民間企業のノウハウを活用した効率性の高い事業推進が図られています。													
	当面の課題	平成30年度から令和4年度までの指定管理期間が満了となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、収入面での目標到達ができていません。													
改計画	新たに、令和5年度から令和9年度までを指定管理期間とする指定管理者の指定を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着いたことから、令和9年度までに収入目標を達成し、最終目標である施設の自立を目指します。														

二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	民間委託等
-------	----------	-------	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	-------

二次評価での指摘事項	指定管理者に対し、月次・年次などのモニタリングを行い、施設が適切に運営・管理できるよう指導するとともに、連携を密にしサポートを心がけてください。また、さらなる施設の認知度向上に取り組むようにしてください。													
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.	013	—	1065	事務事業名	アートヴィレッジとうおん創生事業				公的関与	1				
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	平成 28 年度 ~ 令和7年度					
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進		主要施策	1 協働のまちづくりの総合的推進					
	事業の目的	文化芸術を通じた市内全域への交流人口の拡大、市の認知度向上及び移住促進のため。				根拠法令等								
	事業の手段	東温市移住定住促進協議会の実施事業に対する支援を行います。				掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略、アート・ヴィレッジとうおん構想、東温市移住定住促進マスタープラン							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標				
		東温アートヴィレッジフェスティバル参加者数		イベントを通じた交流人口の増加を確認するため		人	目標 2,800 実績 1,530	2,290 1,204	1,772	2,000				
							目標							
							実績							
							目標							
DO	活動内容	① 東温アートヴィレッジフェスティバルへの支援				④								
		②				⑤								
		③												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費				
	直接事業費		令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考								
		国・県支出金	4,001 千円	600 千円	0 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	3,000 千円	2,770 千円	1,110 千円									
		一般財源	5,340 千円	3,248 千円	15,061 千円									
		計(A)	12,341 千円	6,618 千円	16,171 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.819 人	5,111 千円	0.593 人	3,704 千円	0.819 人	5,081 千円							
	臨時職員工数・経費	0.364 人	723 千円	0.008 人	16 千円	0.364 人	720 千円							
全体事業費(A+B)		18,176 千円	10,338 千円	21,972 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	地域振興係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	市の総合戦略事業として位置付けられ、市内外からのニーズも高い必要な事業です。												
	有効性	他に類似事業がなく、全国的な発信力も高い有効な事業です。												
	達成度	新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの開催自体が困難な状況であり、目標としていた参加者数を達成できていません。												
	効率性	国補助金を活用する等、財源確保に努めていますが、通年でイベントを実施するため事務量が多くなっていることから、実施手段の効率化を図っていく必要があります。												
	当面の課題	移住定住の促進のため、県外・市外への認知度向上を図ってきましたが、市民の皆さんへの認知度向上も併せて図る必要があります。												
	改計画	新型コロナウイルス感染症の影響が縮小されたことから、適正な事業推進に努めます。また、アート・ヴィレッジとうおん構想成果検証等業務等により、計画期間満了後の事業の在り方の検討を進めます。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	D	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
二次評価での指摘事項	本来の目的である「移住定住の促進」におけるオンリーワン戦略であることを再確認するとともに、本市の魅力を全国に発信し、本市へ人を呼び込めるよう取り組んでください。													

No.	013	—	2006	事務事業名	とうおん魅力発信事業				公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--	------	---

PLAN	課名	地域活力創出課	係名	観光物産係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 25 年度 ~	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	3 広域観光体制の充実とPR活動等の強化				
	事業の目的	東温市イメージキャラクター「いのとん」を中心に、本市の魅力を全国に発信する「東温市知名度アップ戦略」に取り組み、本市の魅力を伝え、より多くの誘客を図るため。				根拠法令等							
	事業の手段	県が主催する観光PRや物産展、広域観光連携推進協議会による連携事業、協定締結自治体等との連携を図りながら、効果的に本市の魅力を伝え、より多くの誘客を図り、地域活性化に取り組みます。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標			
		いのとんのイベントへの参加		本市のPR、広報宣伝活動のため		回	目標 100	100	100	110			
							実績 78	78					
							目標						
							実績						
DO	活動内容	① 県内外のイベントに参加し、本市のPR、広報宣伝活動を行った。			④								
		② いのとん着ぐるみの維持管理			⑤								
		③ ラッピングカーの維持管理											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費			令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		15 千円	15 千円	15 千円							
		一般財源		1,382 千円	2,243 千円	3,654 千円							
	計(A)		1,397 千円	2,258 千円	3,669 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.356 人	2,247 千円	0.309 人	1,962 千円	0.309 人	1,962 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,644 千円		4,220 千円		5,631 千円							
一次評価者	観光物産係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	本市の魅力を効果的に県内外へ発信して本市への誘客を図り、地域の活性化を目指すためには、「いのとん」の積極的な活用が必要です。												
有効性	多くの方に本市を訪れたいと思ってもらえるように市の魅力を発信しており、交流人口の拡大につながっています。												
達成度	コロナ禍の影響で、各種イベントが中止になるなど、PR機会の減少がありました。SNSを利用するなど対面によらないPR活動ができました。												
効率性	いのとん派遣業務は、(一社)東温市観光物産協会へ委託し、適切に実施されています。また、魅力ある情報発信についても、SNSを活用することでコロナ禍でも継続して実施しました。												
当面の課題	経済活動の回復とともにイベントの機会も増えており、市内事業所等に積極的にいのとん派遣を実施するとともに、市外のイベントにも出展し、市の魅力をPRして誘客促進につなげる必要があります。												
改革計画	(一社)東温市観光物産協会と連携し、SAKURA select創出事業等、他の事業の機会をとらえて、市の魅力について積極的、継続的に発信する必要があります。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	コロナ禍により事業実施が困難になっていましたが、全国的に徐々に回復してきていることから、積極的に本市の魅力発信に取り組んでください。また、いのとんについては、出演依頼は多くあり、市民をはじめ多くの方に喜ばれていますが、着ぐるみの経年劣化・汚れ等が目立ってきており、そろそろ新たな制作について検討する必要があります。												

No.	013	—	2034	事務事業名	さくらの湯観光物産センター及びふるさと交流館さくらの湯維持管理事業				公的関与	6			
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	観光物産係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 30 年度	～ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策					
	事業の目的	観光及び産業の振興を目的とした拠点施設を安定的に運営するため。				根拠法令等	東温市さくらの湯観光物産センター条例、東温市ふるさと交流館条例						
	事業の手段	指定管理者制度を導入し民間のノウハウを活用することにより、より質の高い利用者サービスの向上と管理運営のコスト削減に努めます。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標			
		観光物産センターの営業実績	施設の収入額		千円	目標	23,065	23,707	25,936	29,896			
					実績		24,026	25,865					
		さくらの湯の営業実績	同上		千円	目標	149,206	149,206	152,089	155,489			
					実績		75,650	101,787					
					目標								
					実績								
DO	活動内容	① 観光物産センターの施設維持管理				④ さくらの湯の利用状況							
		② さくらの湯の施設維持管理				⑤							
		③ 観光物産センターの利用状況											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費		令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	・2年毎に源泉ポンプの修繕工事、濾過器の濾材入替修繕工事を実施しているため、各年度予算額に増減があります。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	・全体事業費(直接事業費及び人件費)は、観光物産センター及びさくらの湯維持管理事業の合計です。							
		その他特定財源	7,139 千円	7,016 千円	6,426 千円								
		一般財源	37,277 千円	18,923 千円	71,507 千円								
	計(A)	44,416 千円	25,939 千円	77,933 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.687 人	4,336 千円	0.338 人	2,147 千円	0.338 人	2,147 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		48,752 千円	28,086 千円	80,080 千円									
一次評価者	観光物産係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	両施設とも観光及び産業の振興により地域の活性化を図るための唯一の拠点施設であり、さらに、さくらの湯は、市民の健康と福祉の増進を図るための施設として、市民の満足度が高く、必要性の高い事業です。												
有効性	両施設とも指定管理制度を導入し、民間のノウハウを活用するなど適正に運営管理しています。また、類似・重複施設が存在していないため、有効性が高い事業です。												
達成度	観光物産センターは、目標設定に対して十分に目標を達成しました。さくらの湯は、コロナ禍による臨時休館や外出機会の減少及び周辺類似施設のリニューアルオープンが重なり、目標設定に対して成果を上げることができませんでした。												
効率性	両施設とも、指定管理者制度導入により市の人件費は削減できていますが、さくらの湯は開館後25年が経過しており、修繕等を含む施設管理費が増加すると予想されます。懸念事項として、光熱水費、原材料費及び人件費の高騰によるコスト増が挙げられます。												
当面の課題	両施設とも、コロナ禍の影響により減少した利用者を回復させるために、施設の魅力を向上させる必要があります。観光物産センターは、年間を通しての安定的な出荷数の確保、イートインコーナーのメニュー開発及びふるさと体験棟・レンタサイクルの利用拡大を図る必要があります。さくらの湯は、施設の老朽化に伴う修繕を計画的に行いながら、自主事業を積極的に行う必要があります。												
改革計画	両施設の指定管理者に対して定期的かつ適切なモニタリングを実施の上、安定的な管理運営に努めるとともに、指定管理者による自主事業や積極的な周知活動などを通じて、更なる利用促進を目指します。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	指定管理者制度を導入しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、その効果を検証することができていません。さらに、長引くコロナ禍により激減した利用者の回復について、両施設の指定管理者と連携を密にして、積極的な周知活動を行い、健全な運営・管理となるよう取り組んでください。												

No.	013	—	2036	事務事業名	「SAKURA select」創出事業				公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	---------------------	--	--	--	------	---

PLAN	課名	地域活力創出課	係名	観光物産係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	平成 29 年度 ~	期間設定なし					
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	4 物産の振興						
	事業の目的	“東温らしさ”を感じられる商品を「SAKURA select」として選定し、東温市さくらの湯観光物産センターを拠点として販路開拓・拡大を促進することで地域経済の活性化を図るため。				根拠法令等	東温市中小零細企業振興基本条例								
	事業の手段	(一社)東温市観光物産協会を中心に市内の中小零細企業と連携し、市内外において物産展を開催するほか、選定品の拡充、販路開拓・拡大及びPRを行います。				掲載計画	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略								
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標					
		SAKURA select選定品の売上額	SAKURA select選定品の売上増額を目指すため		千円	目標	4,000	5,000	6,000	8,000					
			実績		6,560		8,523								
		SAKURA select選定候補品の開発及びブラッシュアップ数	SAKURA select選定品を充実させるため		件	目標	10	10	10	10					
			実績		9		5								
SAKURA select選定事業者数	市内事象所との連携を強化するため		者	目標	40	45	50	60							
実績				26		29									
活動内容	①	SAKURA selectプロジェクト会議			④										
	②	SAKURA select選定候補品の募集及び選定			⑤										
	③	SAKURA select選定品の販路開拓・拡大													
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費	備考				
	直接事業費	令和 3 年度決算		令和 4 年度決算		令和 5 年度予算									
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	3,753 千円		4,348 千円		4,946 千円								
	計(A)	3,753 千円		4,348 千円		4,946 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.344 人	2,171 千円	0.415 人	2,636 千円	0.415 人	2,636 千円							
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)	5,924 千円		6,984 千円		7,582 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	観光物産係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)													
	必要性	市、(一社)東温市観光物産協会及び市内事業所が一体となり、地域資源の掘り起こしやイベント等への出展を行うことで、販路開拓及び売上向上に貢献し、より効果的な事業展開につながります。													
	有効性	カタログの刷新や新たなPRコンテンツの作成など、より一層のPRIに役立つ取組に着手しており、ブラッシュアップを行うことで、コロナ禍にありながらも着実に売上向上につながっており、事業継続の効果が見られます。													
	達成度	参画する事業所や選定商品は増加傾向にありますが、更なる連携強化に向けて、市内の中小零細企業ほか、市民に対して本事業の取組や趣旨を理解してもらうよう、情報発信及び交流人口の拡大を図り、有益な関係性を築いていく必要があります。													
	効率性	特産品の販売及び営業機会が激減した中で、経済を活性化するためには、積極的にイベント等に出席し、PRする必要があり、企業の零細性が強い本市では、地域商社の役割を担う観光物産協会との連携により効率的に事業を展開しています。													
	当面の課題	SAKURA selectの認知度向上のため、情報発信に係る体制強化や新たな市場開拓が求められます。また、本事業の核となる「さくらの湯観光物産センター」を含め、観光資源と物産を一体的にPRしていくためには、広域連携が必要となります。													
	改革計画	ポストコロナにおいて、市内や県外の協定締結市町で開催されるイベントや商談会に積極的に出席します。また、近隣市町と共同で物産展を開催するなど、広域連携による効果的な事業展開を目指します。													
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実		
二次評価での指摘事項	これまでの取組を踏まえ、今まで以上に、観光物産協会、事業所と連携を図り、積極的に取り組んでください。また、他市町との連携強化にも努め、より効果的な事業となるように取り組んでください。														

No.	013	—	3001	事務事業名	商工業振興一般事務費				公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--	------	---

PLAN	課名	地域活力創出課	係名	企業振興係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp							
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	4 雇用・勤労者福祉の充実		主要施策	1 企業誘致・留置の推進						
	事業の目的	市内における雇用の場を確保するため。				根拠法令等	地域未来投資促進法、東温市企業立地促進条例								
	事業の手段	新たな工業団地の整備や企業誘致を推進します。				掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと総合戦略								
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標				
		工業団地分譲企業選考委員会開催	—			回	目標	2	2	2	2				
			—				実績	2	1	/		/			
		市外企業誘致活動	—			回	目標	2	2	2	2				
			—				実績	0	1	/		/			
地域未来投資促進法に関する認定	—			件	目標	1	1	1	1						
	—				実績	1	1	/		/					
DO	活動内容	①	工業団地分譲企業選考委員会を開催した			④									
		②	えひめ産業立地ミーティングで企業誘致活動を行った			⑤									
		③	東温市企業立地促進条例に基づき固定資産税の減免認定を行った												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費					
	直接事業費			令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考								
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源		90 千円	272 千円	378 千円									
	計(A)		90 千円	272 千円	378 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.178 人	1,124 千円	0.178 人	1,130 千円	0.178 人	1,130 千円								
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		1,214 千円		1,402 千円		1,508 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	企業振興係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
	必要性	アフターコロナにおいて、企業立地に対するニーズが高まっている中で、市民の雇用の場の確保や地域活性化のため、今後も企業立地、留置に対し積極的に対応することが必要です。													
	有効性	現在整備を進めている工業団地への企業立地を効果的に推進するため、委員会での検討や支援を継続して行うことが有効です。													
	達成度	工業団地へ立地を希望する企業の調整を行うとともに、県外への企業誘致活動が再開したことにより市内外から立地に係る問い合わせが増加しており、対応を行っています。													
	効率性	工業団地の整備や都市計画を担当する都市整備課や愛媛県企業立地課と連携し、効果的に業務を進めています。企業対応が増えており、予算・人員が不足することが想定されます。													
	当面の課題	立地を希望する企業に対し、開発が可能な土地が少ないことから、立地企業のニーズを満たせない場合があります。企業からの問い合わせが増加しており、担当課の負担が増加しています。誘致企業が求める立地関連情報の提供を行うため関係部署の協力が必要となります。													
	改革計画	工業団地の整備等を計画的に進めるとともに、民間開発に係る情報共有や適地の調査等を行うなど、企業誘致を推進するための全庁的な体制整備を行う必要があります。													
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	二次評価での指摘事項	企業誘致・立地については、全庁的な取り組みが必要です。関係各課と情報共有を図るとともに、より効果的な本市の体制についての検討を行ってください。また、既存企業への対策も強化し留置策についても整備するよう、検討を行ってください。													

No.	013	—	3039	事務事業名	市商工会補助金				公的関与	9					
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	企業振興係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp							
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし						
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 商工業の振興		主要施策	1 商業機能等の強化						
	事業の目的	市内小規模事業者に対する様々な支援事業を実施する商工会運営を直接支援し、市内の商工業の振興及び地域経済の活性化に寄与するため。				根拠法令等	東温市商工会補助金交付要綱								
	事業の手段	東温市商工会に対して補助金を交付します。				掲載計画									
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標					
		商工会会員数	補助団体の組織機能の強化を図る指標であるため。		事業所	目標	700	700	700	700					
			実績	691		685									
		新規会員入会数	同上		事業所	目標	30	30	30	30					
			実績	49		26									
目標															
実績															
活動内容	①	補助金の交付			④										
	②				⑤										
	③														
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工			費						
	直接事業費		令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考									
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円										
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円										
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円										
		一般財源	10,670 千円	10,670 千円	10,670 千円										
	計(A)	10,670 千円	10,670 千円	10,670 千円											
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.127 人	802 千円	0.127 人	807 千円	0.127 人	807 千円							
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		11,472 千円	11,477 千円	11,477 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	企業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
	必要性	商工会事業の対象者である小規模事業者は、地域経済の基盤であり、商工会への支援を通じてその経営の発展を図ることは、公益上必要と考えられます。													
	有効性	商工会は小規模事業者を中心とした市内で唯一かつ最大の経済団体であり、その活動に対して財政的支援をすることで、合理的かつ効率的に市内経済の発展に寄与することができるため、施策としての有効性は高いと考えられます。													
	達成度	廃業等による退会者が一定数いる中で、毎年度一定の新規会員を獲得し、組織率(市内の商工業者数に占める、商工会会員事業所数の率)を保っており、概ね目標は達成していると考えられます。													
	効率性	商工会は市の実施する様々な支援施策にも積極的に協力いただいております。市と地元事業者との架け橋の役割も果たしているため、他の支援施策を実施した際も、商工会を通してより高い波及効果を見込むことができることから、事業の効率性は高いと考えられます。													
	当面の課題	市内商工業及び地域経済の活性化のために、商工会の財政支援を行うことは現時点で最も効果的な方法と考えられます。また、団体内の課題として、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢による物価高騰等、市内事業者を取り巻く環境も厳しさを増し、多岐にわたる商工会業務も複雑化する一方で職員の数は少なく、マンパワーが不足しています。													
	改訂計画	商工会が現在の、小規模事業者に寄り添うきめ細かな支援を維持できるように、今後も継続して財政支援を行います。また、商工会との連携をより密にしなが、市関連既存事業の実施を協働して推進することにより、さらなる事業効果や情報発信力の強化、双方の事務負担軽減を図り、引き続き商工業の振興及び市内経済の活性化に努めます。													
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
	二次評価での指摘事項	長引くコロナ禍の影響により、厳しかった地域経済はさらに厳しいものになっています。これを活性化し、本市の発展へと繋げていくためにも、商工会と連携を強化し、市内事業者へ寄り添ったきめ細やかな支援を行うよう心がけてください。													